

第4回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会 議事録（要旨）

1 日 時 平成30年5月2日（水）19:00～21:00

2 場 所 利根町役場5階A会議室

3. 出席委員（10名）

会 長	岡 賢市	副会長	川村 啓三	委 員	中澤 則明
委 員	船川 京子	委 員	大越 伸江	委 員	大竹 正人
委 員	花嶋 洋子	委 員	近藤 敬一	委 員	仲田 義弘
委 員	浅野 恵次				

4. 欠席委員 な し

5. その他出席者 な し

6. 事務局

学校教育課長 大越 克典，指導室長 直井 由貴
学校教育課課長補佐 河村 明
学校教育課課長補佐 弓削 紀之
学校教育課係長 布袋 哲朗，
学校教育課主査 海老原尚美

7. 会議次第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 事務局説明・意見交換

（1）第4回検討委員会資料

1. 統合各案のメリット・デメリット

2. 各統合案の概算事業費

3. 統合各案の整備スケジュール

4. 学校施設整備事業費借入償還金残額一覧（前回資料）

5. 利根町義務教育施設整備基金積立額

6. スクールバスの利用比較

（2）次回の日程について

4. その他

5. 閉会

8. 議事

1. 開会

○事務局　ただいまより，第4回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開催いたします。

2. 会長挨拶

○会　長　今年度になって初めてですのでご挨拶申し上げます。平成と呼ばれているのももうご存知でしょうが，来年の4月30日までしか平成と言えないのですがあと1年間は平成という言葉に楽しみを感じながら進めていきたいなと思っております。そういう中で，ちょっと調べてみますと県南に231校の小中学校がありますが，昔は253校あったので，今はもう既に40校も減っているということなのです。今からの10年間というのは更に学校は減っていくだろうと思うのです。そうなったときどういうことを考えていかなければいけないかということも今日当たりの話題になっていくのではないかと思います，いずれにいたしても，いろんな状態が大きく変化しております。将来の子供たちをどう育てるかという視点をもつ必要があるような気がいたします。余計なことを言いましたが挨拶に代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

3. 事務局説明・意見交換

○事務局　それでは，事務局説明，意見交換に入りたいと思います。ここからは，会議の進行を岡会長にお願いしたいと思しますのでよろしく願いいたします。

○会　長　それでは，4回目です。今日当たりから本当に慎重審議に入っていくといけないし皆さんの本当に真剣なご意見をいただいてこの会が引き締まるような方向に持っていきたいなと思しますのでよろしくご協力をお願いいたします。それでは事務局より説明をお願いいたします。

○事務局
第4回会議資料の説明

1. 統合各案のメリット・デメリット
2. 各統合案の概算事業費
3. 統合各案の整備スケジュール
4. 学校施設整備事業費借入償還金残額一覧（前回資料）
5. 利根町義務教育施設整備基金積立額
6. スクールバスの利用比較

○会 長 ありがとうございます。非常に具体的に迫った内容になってまいりました。今の説明に対して質問がありましたら受けたいと思いますので資料を一回一読していただいて時間を10分取りますので質問事項を考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

 それでは質問がないようでしたら順次中身にはいっていききたいと思います。

○委 員 例えば新校舎に統合というところですが、もし新しくまっさらなところに学校を造るとなったときに、例えば利根中学校に隣接した土地を用意することはできるものですか。

○事務局 それにつきましては、用地買収費を出していただくようにがんばりたいと思いますが、その辺の目途というのは今のところ経っていないません。

○委 員 エレベーターのことですが、文小学校のエレベーターの事業費で4567万円であとの2校は多目的トイレも付いて同じ数字なのですが、これは何か理由があるのでしょうか。

○事務局 これは参考としている金額が龍ヶ崎市の城西中学校の単価を採用しているところで細かく細分化できないところがありましたので同じ金額を計上したところです。

○委員 バスの乗り降り場所のことですが、乗り降り場所がどこもないではないですか、それに対してやっぱり整備しないとダメになりますか、場所は確保できますか。

○事務局 乗り降り場所に関しましては、大型バスということもあり、また、子供さんの体力低下ということも懸念されているところでもありますので、ある程度幹線道路を走るような形にさせていただければということで、そこに集まって来ていただくようなことを考えてはおります。

○委員 その確保というのは結構大変な部分ですがどうでしょうか。今は小型バス2台ですよね。これ45人乗りの大型バスとなると結構地域によっては大変かなという気もしますが。

○事務局 ある程度幅員のあるところでないといけないということもありまして、また、そこまで出ていただくのに少し距離の長くなるお子さんもいらっしゃるかもしれないのですが、その辺については、多少のばらつきはあることは勿論承知はしていますので保護者の方にはご了解いただけるようにしたいと考えています。

○委員 時間をかけて積み上げていくというような対応ですね。それに関連してですが、大型バスとなると現在小型バス2台で委託費がこの数字がでていきますよね。大型バスだとこれはまだ読めないですか。

○事務局 そこまではまだはっきりさせてなかったのですが。

○委員 でも、これは必ず単年度ではなくて継続事業になりますよね。そうするとやはり将来的に町としてもこの数字というのは考えていかななくてはいけない結構大事な数字かなと思います。これプラス年々子供たちは数も変わってくるしバスの乗り降り場所もいつまでも同じ場所かというところもいろいろ変化していく可能性もありますので、やはりこの大型バス45人乗りを考えたときにその数字も大事になってくるかなという印象は持ちました。以上です。

○委員 その関連でバスのことですが、子供たちが乗り降りする場所、それからバスターミナル、学校へ着いたときの乗り降りのこと、その場所、やり方、施設拡充そういうことでその2点をやっぱり真剣に話す必要があるのではないかなというように思います。以上です。

○事務局 まず、バスですが想定で大型バスを全て6台、7台、6台という形で想定しています。今は小型バスですので、今の場合にはご自宅の近くまで周って行けるのですが大型バスになった場合には、おそらくそこまでの配慮はできないと思います。そうなりますと町の公共施設、若しくは地区の集会所などを利用させていただいて、そこまでお子さんに歩いて来ていただきそこでお子さんを乗せて各学校の方へ行くというようなルートは今では考えております。もうひとつの学校のバスターミナルですが布川小学校におきましても今、給食室の前で、ある程度整備したとしても大型バスが6台入れるかどうかというのは今の段階では疑問があります。文小学校につきましてはバスターミナルは当然ありませんので公民館前の砂利の駐車場を借りる形しかないとは思っております。

文間小学校の方になりますと大型バスが中に入っていけるかというのがありまして文間小学校の前に児童クラブがありまして、その駐車場がありますが大型バスが入っていくというのは今の段階では難しいのかなと思っています。先程委員の方から金額の想定というのもあったのですがどの学校になってもそんな大差はないのかなということで金額の方までは載せてなかったというのが現状であります。以上です。

○会長 ありがとうございます。ほかに事務局の方に質問ありませんか。

○委員 大型バスに関するのですが、その大型バスにした根拠は何ですか。

○事務局 児童数が多いということと前回の検討委員会でも体力面で

歩かせた方がいいのではないかということもあり、また、できるだけ町の方のお金もありませんので小型バスを何十台という訳にもなかなか難しいのかなということで一応大型バスで出ささせていただきました。ただそれが統合になったときに保護者の方からいろんな意見があればそこは変わって来るのかなと思いますが一応幹線道路でどうかということなので大型バスという形で事務局の方で提案させていただきました。

○委員 大型バスの方がコストは安いということですか。

○事務局 金額は確かに単価的には大型バスの方が高くなるのですがその分多く乗れますのでバスの台数が少なくなります。トータルの面では大型バスの方が金額の面では安く上がるのではないかなと思います。

○委員 バスはどうしても大型が望ましいのですか。

○委員 今走っているのは何人乗りですか。

○事務局 1台は26人乗りでもう一台は確か19人か20人くらい。あくまでも補助いすは使わないようにしての話です。

○委員 26人だったら10台ちょっとですね。

○事務局 ただ26人乗りも結構大型に近い幅はあります。もう一台の小型のマイクロバスはかなりコンパクトにはなっていますが乗れる人数というのはやはり若干少なめになってしまいます。

○会長 分かりました。あと質問ないでしょうか。

○委員 全部大型バスで考えているのですが、さっき言った小回りが利く小型バスと大型バスの併用のようなものはなしですか。

○事務局 それは、ありだと思います。これは比較する段階の話として大型で6台、7台、6台でということをやっているだけな

のでこれが小型でとなれば全て小型になるので台数的にはどこの学校になっても変わらないのかなと思っています。

○委 員 その大型バスが入っていけない地域とかあるではないですか。入っていけないところを小型バスにしてという感じで対応というのはできるということですか。

○事務局 答申していただければ考えていきたいと思います。

○会 長 これは試算の段階で大型バスにただけであって今言ったような意見があれば小型を通さなければいけない場所もありますよね。

○会 長 分かりました。バスは必ずしも全て大型ではないということを理解しておいてください。

後はないでしょうか。ないようでしたらまず1ページに戻っていただきたいと思います。今まで3回議論をした中で一応35年を目安として統合という一つの線が成り立っています。そういう形でいくと35年度というのは一応合併できるような方向に私たちも話しは進めて生きたいと思うのです。そうするとここに布川小学校になった場合、文小学校になった場合、文間小学校になった場合、新築の場合、4つの例が出ております。今の町の状況とかいろんなものを考えてここが非常に大事なことだと思うのです。この四択の中で皆さんの意見を十分出していただきましてここがいいのではないかという方向を出していただくとありがたいと思います。

○委 員 いろんな選択肢がある中でまた蒸し返してしまうと思いますが、最初からやはり3校を一つにまとめるというところで話しがやはり進んでいて、自分もそう考えていたのですが12学級から18学級以下の基準ということからそうやってきたのかとは思うのですが35年頃に文小学校が激減するということで文小学校が少なすぎるからというところから問題になっていると思うのですが、例えば文小学校のところを文間、布川に分散して2校残すというのは有りなのかなというようなことを今思いまして三つを一つにするので

はなくて一つまた選択肢として2校に分けるのであるならばこのメリット・デメリットで考えると一番金額的にもまたその後の文小学校の跡地利用がしやすいということを考えれば布川小学校に統合するというのが一番メリットが多いのかなというように思います。

○会 長 今の意見も悪くはないと思います。

○会 長 そうすると後ほんとに5年を過ぎた頃から利根町の状況というのはやはり相当変わってくるような気がします。そこまでがんばって2校に仮にして置いたとしても、その後また一つもってこなればいけないとなると、これだけの作業が同じようにでてくるような気がしてならないのです。そのメリット・デメリットがいろんな意味ではあるとは思いますがこの辺で思い切って一つにしても、相当減ってしまいますからね。もう利根町には学校は存在しなくなるような状況も出てくるような気がします。やはり私は存在している以上なんかの形でいい方向に持っていければいいかと、そのためにこれが発足したと私は理解しています。一応35年を目安として一つにという方向にしたので貴重な意見だと思うので理解していただきたいと思います。それをいうと委員が言ったようにこの四つの中から選ぶとしたら一番私たちが望むものは4番目の新しい校舎を造ってくれることでしょうか。ただ到底無理なことなので、そうするとどこへ造るかということみんなが集中できるど真ん中へ造るのがいいと思います。

○委 員 ど真ん中ってどこですか。

○会 長 文小学校がど真ん中になるのかな。

○会 長 ど真ん中という表現が悪いですが、遠くないところです。

○委 員 結局、文小学校にしたところでそのバスに乗る人数が一番多いですね。

○会 長 沢山意見出してください。選択がこの四つありますからメ

リット・デメリットを十分に考えていただいて。

○委員 実際はその文小学校の跡地利用がしやすいというのは何か具体的なものは何かありますか。

○事務局 公共施設が周りにあるので公共施設として考えると考えやすいのかなというだけで、何が跡地になるのかも実際分からないので公共施設としては利用しやすいのかなというだけです。跡地利用は全てどこも問題になってくるとは思います。

○会長 いろいろなことが起こってくると思います。今日は本当に深い話しをしていただいてありがたいですが、この中で一つ方向を決めたいなと思います。ここに現れているデメリットだけではなくて仮にここに小学校を持ってきた場合にはこんなこともあるという意見も出るとまた発想が変わってくると思います。

○委員 要するにこの四つの中から最終的にどれか一つ選ばなければならないというような話しの進み具合なのかなと思うのですが、公平な観点から文間小学校が入っていますが文間小学校を統合する小学校として考えるのは現実的には私は一番難しいと思います。ですので選択肢の中からという観点からいうと文間小学校はここから外してもいいのかなというような気がしています。その理由として一つは校舎の狭さ、そして、そのスクールバスの入りにくさ、校庭の広さもそうです。その施設的な面、金額的な面も含めて文間小学校に統合するというのは現実的ではないなというようには思っています。話し合いでの中の公平さを保つ上で文間小学校をあえて言っていると思うのですが現実的な議論としては文間小学校はもう外してもいいのかなという私的な意見です。

○会長 ありがとうございます。

○委員 賛同します。

○会長 ありがとうございます。いい意見でございました。こういう意見がほしいですね。

○委員 意見というか質問ではないのですが、皆さんの頭の中には布川小学校の方に集めるしかないのかなという思いではないでしょうか。こんなことをいうと失礼ですが私はそういうように頭にあります。子供たちの動き、それから、学校が始まった後、勉強が始まった後、子供たちの様子、いろいろ今までの少ない経験の子供たちのふれあいの中で考えれば今の利根町が35年度を目指しての話しだと小学校の部分は布川小学校で統合して、中学校は今の利根中学校でということで35年スタートするしかないのかなと偉そうに言って申し訳ないですが、そのように考えています。以上です。

○会長 ありがとうございます。委員の意見は分かりました。

○委員 金額的な一番少ない予算で進められるというのもベストかなという部分もあるのですが。

○委員 私も文小学校出身ですから文小学校は潰したくないのです。

○委員 昔からの校歌が残っているのは文小学校だけですから中学校何もないのです。

自分は一応卒業生で「いちょうのこずえ」の校歌が残っているはあそこしかないのです。100何年経っているのもあそこしかないのです。だから、文小学校は是が非でも残したいそれは卒業生として当然なのです。

○委員 グラウンドが狭いし3校統一して運動会やりましょうとなったらやはり難しいのかなというように思います。

○会長 一応いろいろ皆さんに聞きます。

○委員 布川小学校にというのも気持ち的はすごく分かるのですが文小学校にという私の個人的な意見もあるし一番ベストな方法を皆さんで決めていくということなのでその中で私は決められない。

○会長 強烈的な質問をして申し訳ない。意味は分かりました。あり

がとうございました。

○委員 いろいろ視察を見た中では布川小学校は凄くきれいです。今メリットを考えても予算的にも少ないのでいいかと思うのですが、個人的に言うと家から遠いなというのがあって結局端ですよ。しかし、校舎とかそういったものを考えると布川小学校がいいとは思いますが。個人的には文小学校くらいのところがいいのですが現実的に校舎を考えれば布川小学校がいいと思います。

○会長 それでは次お願いします。

○委員 私はグラウンドの広さはダントツに布川小学校が広いのかなというのは一目瞭然なので、あとバスとかで子供達の運動量がというのがありました。毎日の登下校で運動をカバーするというのは勿論だと思うのですが、それだけではなかなかまかなえないという部分も運動面に関してはあると思いますので、個別にスポーツ少年団に入っていたりとか陸上やっていたりとかそういった部分でも運動の部分に関してはフォローできるのかなと思います。文小学校は公共施設が集まっているというのが先程ありましたので跡地の利用はしやすいというのは賛同できます。文間小学校はやはり周辺の道路が狭く校庭も狭いのでやはり現実的ではないのかなというのは感じました。新校舎、これが一番理想的ではありますが費用の面がちょっと莫大にかかってしまうというのがありますのでこれもなかなか利根町は財政的が厳しいですからそういった面で消去法でいくと布川小学校になるのかなと今のところは感じています。以上です。

○会長 はい、ありがとうございました。

○委員 やはりこれからの小さい子供たちのことを考えてバスも必要になってきます。そういう面でやはりこの表から布川小学校に必然的になってしまうのかなとは思いますが。後はやはり3つの小学校が一つになったときのグラウンドのボリュームですか。

○委員 おそらく県南では一番小学校では広いくらいの広さだと思います。

○委員 グラウンドが広い布川小学校，後は周りの道路等を考えると一番いいのかなと思います。

○委員 例えば文小学校にしたところでグラウンドは大きくできるかということそれは厳しいですかね。

○会長 ありがとうございます。

○委員 今それぞれ出身校への思いというのはどの住民の方もやはりあると思うのです。自分の母校がなくなるということが一番残念に思うと思うのです。ただだから一番いいとしたら新しいのを本当に新しく建てて皆さんここへ来るようにというのが一番皆さんは納得すると思うのです。しかし，客観的に私も3校を回ってみると子供達の生活することを第一に考えれば布川小学校の環境が一番今はいいのかなと思っています。それぞれの皆さんの思いがあるのは分かりますけど現時点でそういうのができないとすれば布川小学校がいいのかなというようには思います。

○会長 ありがとうございます。

○委員 私もそれなりに意見はあるのですが先程二つという話しはしましたがそれを更に一つにしたとしたならば客観的な数字を使って言うならば今議論されているのは平成35年までの話しなのですが35年までは例えば文間小学校は150人代それほど大きくは減らないけども例えば文小学校でいえば68人まで減っているということを見ると先に更に平成40年までと考えるともっと更に文間小学校も減っていくということです。それを考えて一番少ない文小学校に統合することが客観的にどうなのかということもある訳です。要するに68人まで減ってしまった学校に何で布川小学校と文間小学校が集まるのということもあるし将来的に一番多く住んでいる人口が集まっているところといたらやはり布川地区の訳なのです。布川地区の人口は多分将来的にも大きく

は減らないだろうと考えるのであればやはり布川地区にある学校に残すべきではないかということが数字的に説明できるのかなとは思いますが。

○委員　私も布川小学校がいいと思います。ただ先程も申し上げたのですが私はどうしてもその移動手段がいまいちすっきりしないのです。例えば学校の統合というだけを考えて一つにするのですがやはりここで新たに子供を生んで育てていく人たちが学校の状況を見るし今何とか町に人を呼び込むこととかも現町長も一生懸命やっつけらっしゃる中で学校に通わせるというのは基本中の基本だと思うのです。そういう意味からも45人乗りのバスが6台、7台幹線道路を中心というイメージがなんかいまいち入ってこないで先程併用という話しも出ましても小型バスがスクールバスで通っているというのがイメージに入ってくるのですがやはりその辺のところは現実の保護者の方のご意見とか学校の先生方のご意見とか丁寧に聞きながら一番望ましい形を探っていただきたいなと思って思います。それともう一つ放課後児童クラブの話に触れてもいいでしょうか。

○会長　はい。いいです。

○委員　ここで私は気になったのですが学校を統合するに当たり一つのチャンスじゃないかと思っているのですが本当に「放課後子どもプラン」は結構現場に対して縦割りの中でもそういう方向にという話しはずっとプッシュしているのではないかなと思うのです。あんなにきちんと整備していただいたのに町としての対応は少し遅いかなくらいに私は個人的な意見として思っているのですが、この辺は32年に一つの形があるのであれば是非ここは対応して行っていただきたいと併せて思います。以上です。

○会長　ありがとうございます。
今非常に大事なことをおっしゃったと思うのですが仮に一つのところに集合して学校を一つにしたとしてもその移送手段の問題後もう一つは放課後子どもクラブの問題。これは例えば放課後の子供たちが残っているその子どもたちはバスで送

迎えるのか個人の母親や父親が迎えに来るのかというようなことも問題になってくると思うのです。これはすごく大きな問題なので一つの課題として残しておきたいと思います。

○委員 是非お願いしたいと思います。

○会長 そうするとここまで来ると、一応概ね皆さんの意見は布川かなと言う方向になってきました。それでは布川ということ想定しながら布川にした場合の条件はどのようなのだろうか。この工程あたりは一体これでいいのだろうか。それからスクールバスの課題これ大きな課題だけど統合したら何が何でもやっぱり町としてはやらなければいけないことなのでこれはもう少し利用する人たちの気持ちを考えて造ってほしいなと思うので提案しておきます。ということでバスのことは後でもう一回練るとして、ここまでの工程の中で布川にしたときに問題が出てこないかちょっと資料を見ながら検討をしていたらありがたいです。

○会長 今言った過疎地域というのは我々としては早く解除してはもらいたいという気持ちはあるのですよね。

○委員 脱却の定義ってありますか。

○事務局 利根町が過疎地域に指定される要件というのがありまして平成2年度の利根町の国勢調査の人口と平成27年度の利根町の人口を比較しますと20.4671%の減になっているのです。四捨五入しますと21%の減少率があったということと25年度から27年度の財政力指数の平均が0.5以下であることというのも条件にありまして実は利根町の場合には0.43と低く財政的には余裕がないということになるのですが、そういったことで該当になってしまいまして過疎地域に指定された経緯があります。

○委員 どうなったら脱却というのはあるのですか。

○事務局 財政力指数が上がった日とか、人口が増えれば一番いいのですが。

○委 員 明確なものってありますか。特に指定の条文を私も読んでことがあるのですがどういう状態になったら過疎からの脱却というのはちょっと見つけられなかったのですが二つの基準を超えれば自然となるのですか。

○事務局 そのこのところですね、財政課の方にも聞いてみたのですが担当の者がいなくて明確な答えはできないのですが基準となるものはあるそうです。その基準も今のところ32年度までは過疎地域として指定はされるそうです。33年度以降はいつが基準になるか分からないですが、そこでまた同じような要件が当てはまるかそれとも持ち直しているのかということで脱却ということもあるかもしれないということです。

○委 員 次回は、是非そのこのところは過疎に指定になったときに明確になってなかったのかなと思うのですが、お調べいただければありがたいです。

○事務局 分かりました

○会 長 一応布川小学校ということを考えてときにスケジュールはこれで間に合うのですか。

○委 員 その35年というようなことでいうと33年3月までに学校設置条例の制定が必要であるということなので学校設置条例の制定にはどういう手続きがあってどういう期間が必要なのかという具体的なものというのは既にあるのですか。今、1年生にいる子も6年生で関わってくるので、やはり一番コンセンサスとして得なければならないのは保護者、地域の方々の意見というか考えがどうあるのかというところが、やはり最終的に説明するときは行政側の説明がスムーズに進むかどうかと言うのがあると思うのですが、そのこのところのアンケートなり意見を聞くというスケジュール的なものは考えられているのかなと思うのですが。

○会 長 それは次の段階にしましょう。

○事務局 話しがまとまればできると思います。今ここで話をしていただけに関しまして今年度答申をいただきまして、この後、教育委員会の方で方針を決定する方向にいます。その方針を決定する前にまず、保護者の方にアンケートは取りたいと思っています。そのアンケートをとって教育委員会の方で方針を決定した後、その後31年度以降になると思いますが保護者に関しまして説明会を布川小学校に統合していきますという話しを同時にしていかないと理解も得られませんのでそこで了解を得ながら32年度設計、条例を可決して開校に向けていくという流れになっていくと思います。まだまだ始まったばかりですので道のりは困難な道のりだと思います。

○委員 35年度開校という点でいえば余裕はあるのかなという感じはしますね。

○事務局 時間はまだあると思います。

○会長 文間小学校の跡地とか文小学校の跡地とかあるいは文間小学校や文小学校当たりで造った新しい建物とかあれをどう活用するかということも私達の一つの意見として入れておくべきであるのでそういうのも次の段階でやはり検討していかなければならないと思いますから、それは検討していきましょう。更に私たちは、そういう方向で行きましたがやはり父兄からアンケートは取って意見は聞くべきだと思います。
今日の資料は非常にたくさんのいい資料、具体的な資料を出していただいたのですが検討の結果、大体布川小学校に一本化していこうと思います。

○委員 例えば、通学区域の問題ですが、今委員会の方からアンケートを取るなりして、布川小学校の方に決まったときに、それではうちの子供は布川小学校に入れたいよというときにそれは可能なのですか。例えば、布川小学校1校になるというときにそういう話しは出す訳です当然ね。そのとき保護者の方がうちの子供が今度1年生に上がるので布川小学校へ是非入れたいといった場合、それはもう認めていくような感

じですか。

○事務局 国の基準どおり利根町は扱っています。例えば子供の見守りができないのでおじいちゃん、おばあちゃんちがその布川小学校区にあるのでそちらに子供を預けるからそこから近いその学区である布川小学校へ通わせたいということであればそれはそれで認めておりますが。

○委員 今、布川小学校の校舎を見てランチルームの改修というのがあるのですが今はランチルームという名前でなくて多目的室という名前で会議をしたり子供たちがちょっとした集会をしたり非常に頻度が高い部屋なのです。このランチルームは、広いのでそれを教室にしてしまうとそう部屋が全然なくなってしまいます。職員側から見れば非常にやりづらい学校になってくるのかなと私も懸念しています。2クラスどうしても増やすしかないとなれば、結局、今の校舎を考えればここしかない。将来また学級数が減ってくれば結局またその部屋が空いてしまうとなるとなんとなく改修というのはどうなのかなと思ひ、仮にプレハブを建ててまた元に戻す方法もあるのかなというような感じがしますのでそこも検討する必要があるのかなと思ったところです。

○委員 学校としてはあのスペースは欲しいかなというところなのです。

○委員 そこを使わないで残した場合、あと2クラスはどうするかと思います。でもそしたらこの予算も変わってくるということですよ。

○会長 教室がなくなるというのは学校では致命傷ですね。

○委員 もし、多目的室を残して新しく教室を二つ増設するといった場合はどんな感じになるのですか。

○事務局 7ページをちょっと見ていただきますと一番上に新築工事、増築工事がありますがそちらの増築工事㎡あたり36万5千円で教室の必要面積をかけてそれに2部屋であれば

2 部屋分をかけてザックリですけども計算になるかと思ひます。

○委員 　それは結構な代金ですよ。

○委員 　それだけの工事をやって増やしたところでまた減ったらそれが結局もったいないということになります。

○委員 　教室は中に置きたいな、プレハブは多目的室にした方が子供たちを中に入れて置いた方がいいかなって私は思ひます。

○委員 　3 5 年に開校したときには 2 クラスは一応足りなくなるという計算なのですよ。

○会長 　それでは、次の機会までに不足した分をどのような改修をしていくかという最低の目標を出していただけませんか。

○事務局 　分かりました。ランチルームは残して 2 教室分をプレハブでということに算出させていただきます。

○会長 　それは必須の条件だと思うのでそれはちょっと工夫してみてください。時間も参りましたので大変、質の高い中身の濃いお話しを今日いただきましてありがとうございます。一応今日の内容としては布川小学校に集めてみようという方向で私たちは決めましたという形で終わりにしてよろしいでしょうか。

○委員 　[全委員賛成]

次回の日程について

○事務局 　次回の日程
平成 3 0 年 5 月 3 0 日（水）　1 9 時 0 0 分から

5. その他 　な　し

6. 閉会

○事務局

それでは第4回利根町小中学校適正配置等検討委員会を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました